



品番
CPQ-A1型

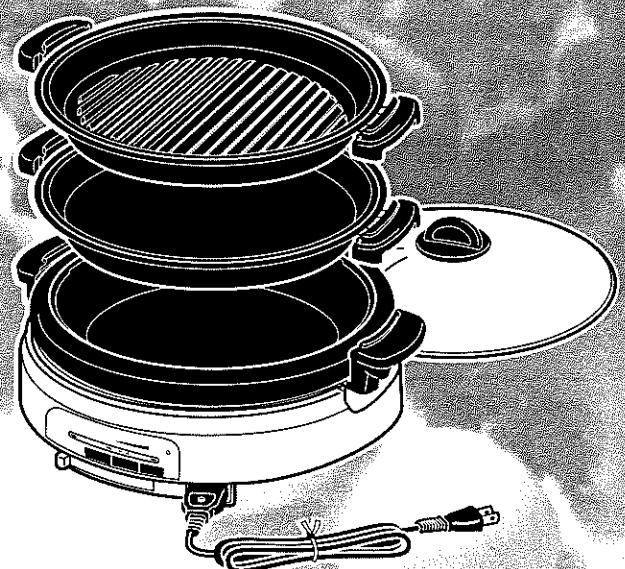
タイガーグリルなべ 〈これ1台〉

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

1. 安全上のご注意	1
2. お使いになる前に	5
各部のなまえとはたらき	5
付属品の確認	6
3. 焼きものをするときは	6
4. 鍋ものをするときは	8
5. 使い終わったら	9
6. お手入れのしかた	10
7. 収納のしかた	11
8. 故障かな?と思ったら	11
保証とサービスについて	12
連絡先	12
仕様	13
保証書	13



点検・修理などを依頼されるときなどに記入しておくと便利です。

ご購入年月日	年	月	日
ご購入店名			
TEL ()			

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。

※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意事項は、誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠ 警告

「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠ 注意

「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の例



この絵表示は行為を「禁止」する内容です。



(分解禁止)



この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。



(強制・指示)



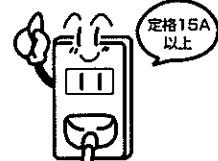
(差し込みプラグを抜く)

⚠ 警告

交流100V以外では使用しない。
火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。

他の器具と併用すると
分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。



電源コードは傷んだまま使用しない。
(傷つける・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねる・高温部に近づける・重いものを載せる・挟み込む・加工するなど)
電源コードが破損し、火災・感電の原因。

差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。



差し込みプラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。



差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因。



ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しをしない。

感電やけがをするおそれ。



器具用プラグ(磁石式)の先端にピン等金属片やごみを付着させない。

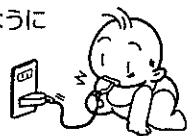


感電・ショート・発火の原因。



器具用プラグをなめさせない。

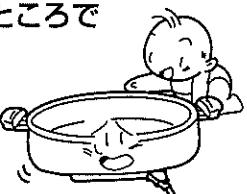
乳幼児が誤ってなめないように注意すること。
感電やけがの原因。



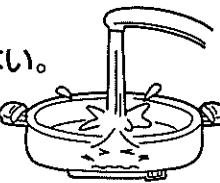
⚠ 警告



子供だけで使わせたり、
幼児の手の届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれ。



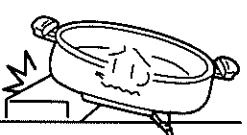
水につけたり、
水をかけたりしない。
ショート・感電のおそれ。



⚠ 注意



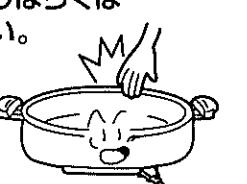
不安定な場所や、熱に弱い敷物の上では使用しない。
火災の原因。



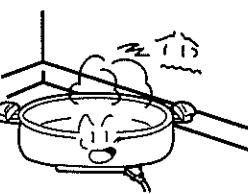
使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。



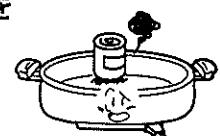
差し込みプラグを抜くときは、必ず差し込みプラグを持って引き抜く。
感電や、ショートして発火するおそれ。



お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれ、やけどのおそれ。



缶詰や瓶詰め等を直接加熱しない。
破裂したり赤熱してやけどやけがをするおそれ。



使用中は、本体から離れない。
調理物が発火するおそれ。

お願い

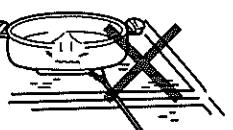
次のような場所では使用しない。

変色や跡形がついたり、こげたり、故障、感電、火災の原因。

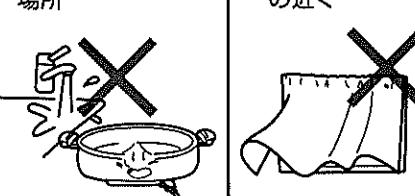
- ビニール製などの熱に弱いテーブルクロスの上



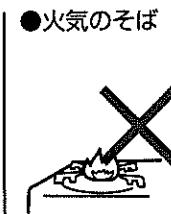
- たたみ・じゅうたんなどの上



- 水のかかりやすい場所



- カーテンなどの近く



- 火気のそば



※熱に弱いテーブルやワゴンなどでも、変色や跡形がつくことがあるので注意すること。

- タコ足配線はしない。
火災のおそれ。



- プレートあるいは深なべが本体にセットされていない状態では、絶対に通電しない。
やけどや火災の原因。

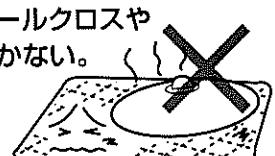
- ヒーターの上にプレート、深なべ以外のもの(なべや、やかんなど)を置かない。



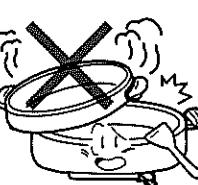
- 蒸しものの料理でふたを開けるときは、蒸気に注意する。
蒸気が勢いよく出るので、やけどのおそれ。



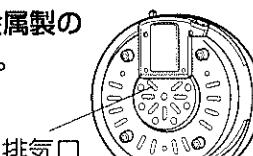
- 熱いままでのふたをビニールクロスやテーブルなどの上に置かない。
跡形がつくことがあるので注意すること。



- 熱くなったプレートや深なべ、へらを本体の樹脂の部分に触れさせない。
本体の樹脂の部分が熱で変形するので注意すること。



- プレートや深なべのとっ手がぐらついてきたときは、とっ手裏面のネジを締めつける。
ぐらついたまま使用するととっ手がはずれて危険。

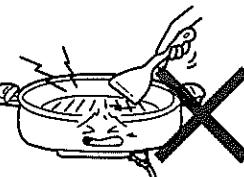


お願い

末永くご使用いただくために、必ずお守りください。

- 深なべ、波形プレートには金属へらは使わない。

フッ素樹脂加工面が傷つき、腐食の原因。



- 専用へら以外の金属製のへらやナイフを使わない。

フッ素樹脂加工面が傷つき、腐食の原因。
付属のへらを使用すること。



- ショックを与えない。

正しく温度調節されるよう精密に調整されているで、落としたり、ものにぶつけたりしない。

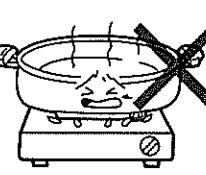


- 深なべで鍋もの料理以外は、ガスコンロを使わない。

ガスコンロを使って深なべで炒めものなどをすると高温になりすぎ、変形するおそれ。

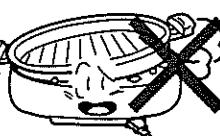
- 本体やプレートをガスコンロにかけない。

本体が燃えたり、プレートが変形して使用できなくなるおそれ。



- 深なべをガスコンロでカラだきしない。

フッ素加工面が傷んだり、変形して使用できなくなるおそれ。



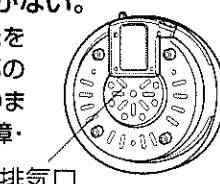
- 異物や汚れは取り除く。

プレート、深なべの裏面や遮熱板、ヒーターに異物や汚れがついたまま使用すると異常発熱し、テーブルがこげたり故障の原因。
また遮熱板の光沢がなくなってきたらお買い上げの販売店にお問合せの上、早めに交換すること。

- プレートや深なべを同時に重ねて使わない。
故障や温度が上がらない原因。

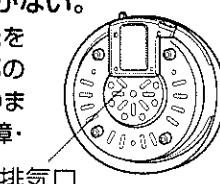
- 使用時にプレートまたは深なべを交換したり、取り外したりしない。

プレートまたは深なべが熱くなっていて、やけどのおそれ。



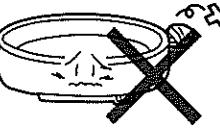
- 本体底部の排気口をふさがない。

本体の下に新聞紙などの紙を敷いて使用したりすると底部の排気口をふさぐおそれ。そのまま使用すると異常発熱し、故障・火災の原因。



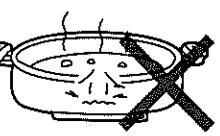
- プレートや深なべのとっ手が傷んだときは、早めに交換する。

とっ手を交換するときは、お買い上げの販売店にお問合せの上、早めに交換すること。



- 料理の残りや水を入れたまま放置しない。

プレートや深なべの素地が腐食し、フッ素樹脂がはがれるおそれ。



説明マークについて

本文中に記載されている説明マークは、下記の意味があります。



おいしい焼きものや鍋ものをしていただくためのポイントと、商品を末永くお使いいただくためのお願いを記載しています。



異常音と間違えないように、作動音について説明しています。

2 使いになる前に

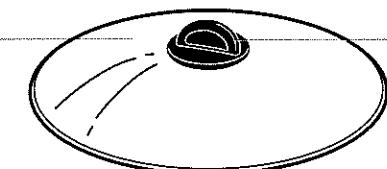
各部のなまえと仕方

● ふた

焼ぎょうざ、ハンバーグ、ステーキ、目玉焼など、焼きものの料理や蒸し焼き料理に使うと、でき上がりが早くなり、ソフトに仕上がります。また、油が飛び散るようなときにお使いください。

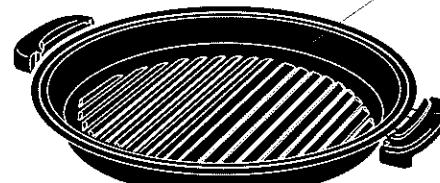
- ふたは耐熱強化ガラス製ですが直火にかけたり、急激に冷却したりしないでください。破損するおそれがあります。

ふたとつ手



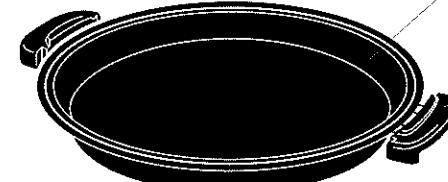
● 波形プレート

焼肉・ステーキに最適です。余分な脂がプレートの溝に落ちます。



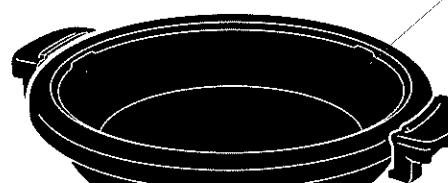
● 平面プレート

お好み焼・焼そば・ホットケーキなどに最適です。



● 深なべ

鍋もの、すき焼きに最適です。



● 本体

遮熱板

ヒーター

表示部

温度調節レバー

プラグ受け

*はじめて使うときや長期間保管していたときは、ふたや波形プレート、平面プレート、深なべを水洗いしてください。また波形プレート、平面プレート、深なべ裏面の黒色吸熱加工面は水洗いしたあと、いらない布等でふいてください。黒い塗料が布につくことがあります、ご使用上の品質に支障はありません。

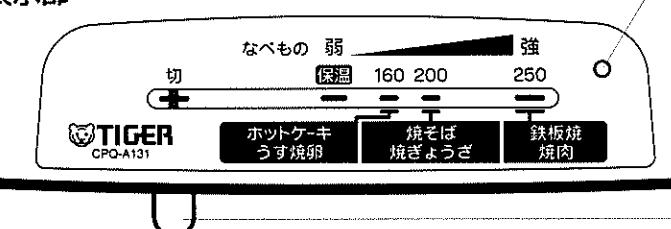
*はじめて使いになるときに、煙が出たり、においがすることがあります、故障ではありません。波形プレート、平面プレートまたは深なべにサラダ油をうすくぬってからお使いください。

*波形プレート、平面プレート、深なべに多少の色むらがありますが、ご使用の品質には支障ありません。

*長時間使用していると、調理物の油によって波形プレート、平面プレートまたは深なべが変色することがあります、ご使用にさしつかえありません。

*波形プレート、平面プレートまたは深なべの着脱時に裏面の黒色吸熱加工の塗装にすり傷やヒーターに黒色塗料がつくことがあります、ご使用にさしつかえありません。

表示部



● パイロットランプ

使用中は温度調節の働きにより、ついたり消えたりします。

● 温度調節レバー

スライドさせると、表示部の赤いレバーが移動します。赤いレバーを設定したい温度の目盛にあわせてください。

専用金属へらの使いかた

専用金属へらは、平面プレートのみに使用してください。



下記のような使いかたをしますと、プレートが傷つき、腐食の原因になります。

- 金属へらでプレート面をこすらないでください。
- 金属へらで、プレートのコーナー部をこすらないでください。



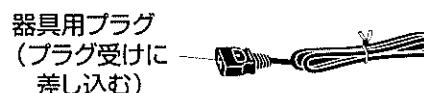
- 金属へらで、プレートのコーナー部をこすらないでください。
- 金属へらを立てて、料理のカスなどをこすり取らないでください。



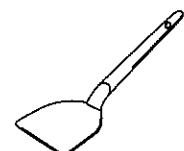
付属品の確認

● 電源コード(1本)

差し込みプラグ
(コンセントに差し込む)



● 専用金属へら(1本)

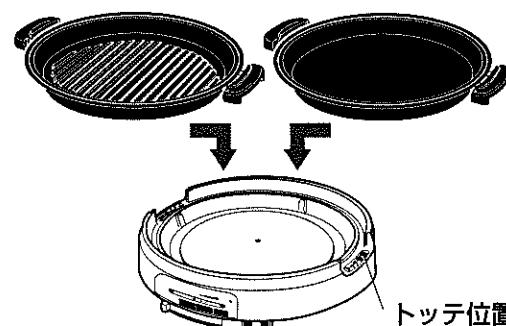


*へらを追加でお買い求めになるときは、お求めのタイガー製品販売店にお申し込みください。

3 焼きものをするときは

1 本体に波形プレートまたは平面プレートをセットする。

用途に合わせてどちらか一方をセットする。



プレートはがたつきや傾きがないようにセットしてください。



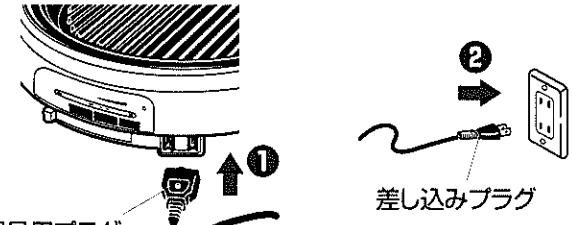
- プレートの裏面やヒーター、遮熱板に水滴や異物がついているときは、乾いた布などでふきとてください。
- 必ず本体の「トッテ位置」にプレートのとっ手をあわせてセットしてください。
- プレートががたつたり、傾いて置くと、プレートの温度が上がらない原因になります。
- 使用時にプレートを交換したり、取り外したりしないでください。プレートが熱くなっていて、やけどのおそれがあります。

3

焼きものをするときは

2

電源コードのプラグを、本体とコンセントに接続する。



器具用プラグは本体のプラグ受けに、
差し込みプラグはコンセントに差し
込んでください。

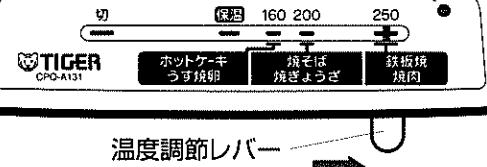


- 温度調節レバーが「切」の位置になっていることを確認してください。
- プレートが本体にセットされていない状態では、絶対に通電しないでください。
- 器具用プラグには、磁石がついています。ピンなどの金属片やごみが付着していないか確認してから差し込んでください。

3

料理に応じて、温度調節レバーをスライドさせる。

点灯



パイロットランプが点灯します。
料理に応じて、「焼きもの」のご希望の位置に温
度調節レバーをスライドさせて合わせてください。

料理例	目盛
焼きもの、鍋ものの保温	保温
うす焼卵、クレープ、ホットケーキ、 目玉焼、フレンチトースト	160
焼きようざ、焼そば、お好み焼、 魚バター焼、ハンバーグ、 あさりの酒蒸し	200
焼肉、ステーキ、鉄板焼、 焼めし、野菜炒め	250

※目盛はふたをしていないときのプレート表面温度の
目安です。

4

パイロットランプが消えたら油をひいて調理をはじめる。

- 調理をする前にプレートにサラダ油をうすくぬってからお使いください。
- 使用中、パイロットランプがついたら消えたりして適温を保ちます。
- できあがりを早くしたいときや油が飛び散るときは、ふたをご使用ください。
- 保温にするときは、温度調節レバーを「保温」に合わせてください。



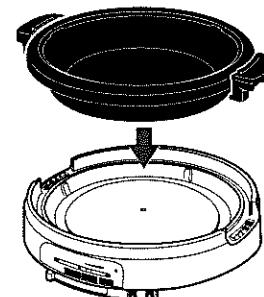
- タレをつけた肉等を焼くと、こげてカスが
残りやすくなります。取りのぞきながら調
理してください。
- 長時間の保温は、調理物が乾燥し、風味を
損ないますのでご注意ください。

4

鍋ものをするときは

1

本体に深なべをセットする。



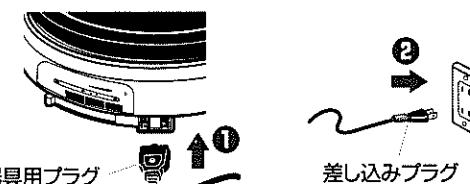
深なべはがたつきや傾きがないようにセットしてください。



- 深なべの裏面やヒーター、遮熱板に水滴や異物がついているとき、乾いた布などでふきとてください。
- 必ず本体の「トップ位置」に深なべのとっ手をあわせてセットしてください。
- 深なべががたついたり、傾いて置くと、深なべの温度が上がらない原因になります。
- 使用時にプレートに交換したり、深なべを取り外したりしないでください。深なべが熱くなっていて、やけどのおそれがあります。

2

電源コードのプラグを、本体とコンセントに接続する。



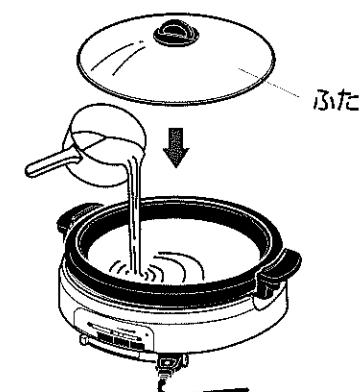
器具用プラグは本体のプラグ受けに、
差し込みプラグはコンセントに差し
込んでください。



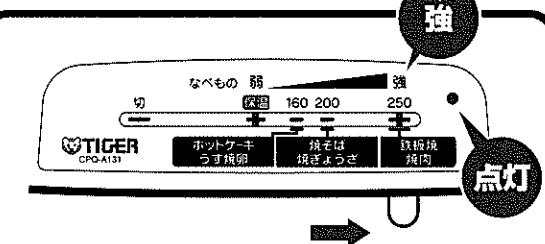
- 温度調節レバーが「切」の位置になっていることを確認してください。
- 深なべが本体にセットされていない状態では、絶対に通電しないでください。
- 器具用プラグには、磁石がついています。ピンなどの金属片やごみが付着していないか確認してから差し込んでください。

3

水やだし汁(スープ)を入れ、
ふたをする。



4 温度調節レバーを「強」に
合わせる



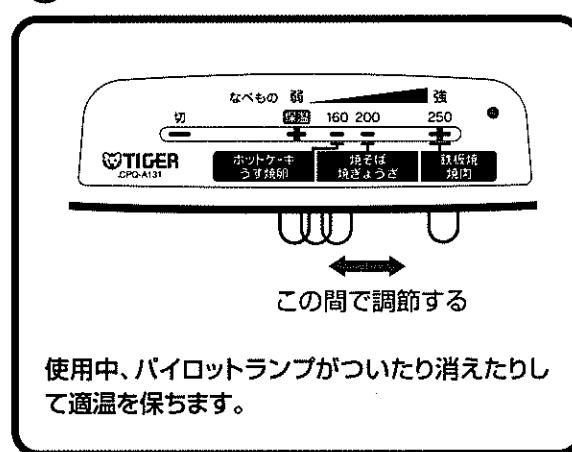
パイロットランプが点灯します。

5 沸とうしたらふたを取り、材料
を入れて調理する。

4

鍋ものをするときは

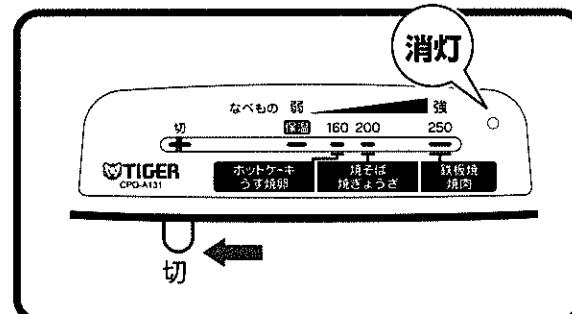
6 煮え具合により、温度調節レバーで火力を調節する。



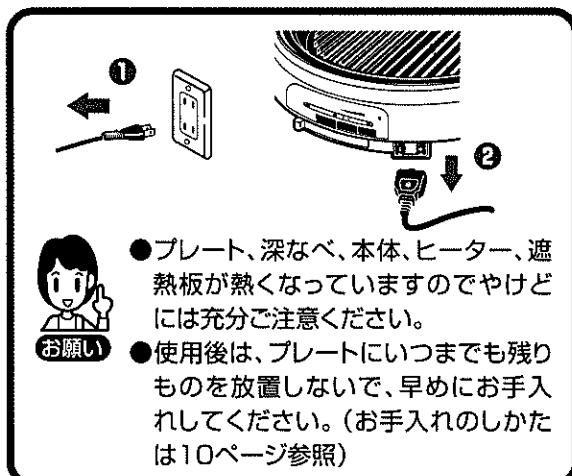
- ふきこぼれにご注意ください。故障の原因になります。
- 使用中に「カチッ」と音がする場合がありますが、ヒーターの熱膨張による音で、故障ではありません。

5 使い終わったら

1 温度調節レバーを「切」位置にする。



2 本体が充分に冷えてから電源コードのプラグを抜き、お手入れする。



- プレート、深なべ、本体、ヒーター、遮熱板が熱くなっていますのでやけどのには充分ご注意ください。
- 使用後は、プレートにいつまでも残りものを放置しないで、早めにお手入れしてください。(お手入れのしかたは10ページ参照)

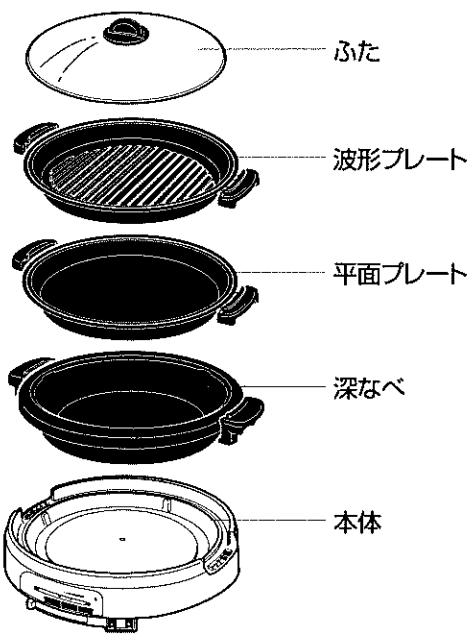
6 お手入れのしかた



- お手入れするときは、電源コードのプラグを抜き、プレートまたは深なべ、本体が冷えてから行ってください。

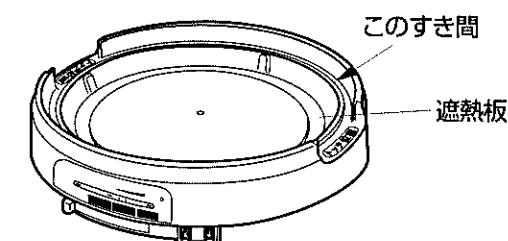
お願い

- 台所用合成洗剤以外(シンナー・クレンザー・化学ぞうきん・金属たわしなど)は、使わないでください



電源コードのお手入れ

- 水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電・故障のおそれがあります。
- 本体外側、遮熱板は台所用合成洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取った後固くしぼったふきんで洗剤分をふきとってください。
- ヒーターは固くしぼったふきんでふいてください。
- 最後に乾いたふきんで水気をとってください。
- 遮熱板と本体とのすき間に調理物が落ちた場合は、本体を傾けてとりのぞいてください。



電源コードのお手入れ

- 固くしぼったふきんでふいてください。
- 水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電・故障のおそれがあります。

皿などのお手入れ

台所用合成洗剤を含ませたスポンジで洗った後、よく乾かしてください。

- ふたが破損しますと、細かく割れます。取り除くときは手を切らないようにご注意ください。

金属へらのお手入れ

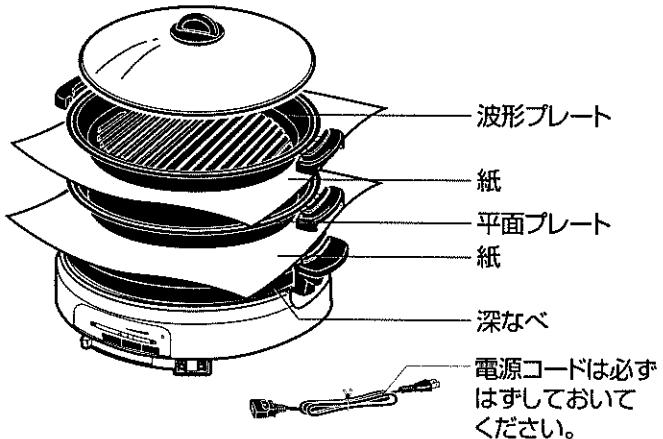
台所用合成洗剤を含ませたスポンジで洗った後、よく乾かしてください。

7 収納のしかた

- 専用の箱に収納してください。

収納方法は、箱に記載しています。

- 専用の箱に収納しないときは、本体の上に深なべ、平面プレート、波形プレートの順に積み重ねてください。また深なべ、各プレートの間に紙などをはさんで保護してから積み重ねて収納してください。直接重ねると、表面のフッ素樹脂加工や裏面の黒色吸熱加工が傷つくことがあります。



8 故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

下記の点検・処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



ご自分の修理は、危険ですから絶対にしないでください。

お願い

こんなときは	ここを見て	こう処理してください	参照ページ
プレートまたは深なべの温度が上がらない。	●差し込みプラグが、コンセントからはずれていますか。	差し込みプラグを、コンセントに確実に差し込んでください。	7・8
	●器具用プラグが、プラグ受けからはずれていますか。	器具用プラグを、プラグ受けに確実に差し込んでください。	7・8
	●タコ足配線をしていませんか。	定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。	1
	●温度調節レバーが、「切」になっていますか。	温度調節レバーを料理に応じてスライドさせて目盛に合わせてください。	7・8
	●プレートまたは深なべが本体に確実にセットされていますか。	本体に確実にセットしてください。	6・8
	●プレートまたは深なべが傾いていませんか。	本体に確実にセットしてください。	6・8
	●プレートまたは深なべの裏面およびヒーターに、異物が付着していませんか。	異物を取り除いてください。	6・8
調理物がひどくこげる。	●プレートまたは深なべの表面のお手入れは充分ですか。	プレートまたは深なべの表面のお手入れをしてください。	10
使用中に音がする。	●「カチッ」と音がする。	ヒーターの熱膨張による音です。 故障ではありません。	7・9
	●上記の音とはまったく異なった音がする。 (調理の音は除く。)	お買い上げの販売店にご相談ください。	
煙が出たり、においがする。	●使いはじめたばかりではありませんか。	はじめてお使いになると、煙が出たり、においがすることがあります。故障ではありません。	5

*ふたとっ手、プレートのとっ手、深なべのとっ手の樹脂成形品にキズやカケているように見える箇所がある場合がありますが、樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。